

## 新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第18回） 概要

日時：令和2年9月28日(月) 14時00分～14時15分

場所：農林水産省 講堂

出席者：野上大臣、葉梨副大臣、宮内副大臣、事務次官、農林水産審議官、官房長、総括審議官、総括審議官(国際)、危機管理・政策立案総括審議官、統計部長、報道官、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、技術総括審議官兼農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、水産庁長官、太田食料産業局付、北海道農政事務所長、東北農政局長、関東農政局長、北陸農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長、内閣府沖縄総合事務局農林水産部長、横浜植物防疫所長、動物検疫所長

内容：

### 1 本部長御発言(大臣)

新型コロナウイルス感染症については、新規陽性者数は7月末以降、下降しているが、秋以降の季節性のインフルエンザの流行期に向けて万全の体制を構築する必要がある。また、経済が戦後最大の落ち込みを記録する中で、雇用と事業を継続し、国民の生活を守り抜くことが重要。

先週の第43回新型コロナウイルス感染症対策本部では、観光、飲食、イベントなどのダメージを受けた方々への支援を議論するとともに、国際的な人の往来について、検査をしっかりと行った上で、できる限り再開していく方針について決定した。

感染をコントロールしながら社会経済活動を再開させていくには困難な課題も伴うが、国民からは、かつてない感染症の脅威に対して、直近の情勢に応じた、メリハリの利いた適時適切な対策をとっていくことが求められている。

これまで農林水産省においても、消費者への情報提供や生産者に対する事業継続の要請・支援など、様々な対策をとってきた。

これからGo To Eatキャンペーンを開始し、コロナで大きな打撃を受けている飲食店に重点的な支援を行う。また、この事業では感染拡大の防止と経済活動の段階的再開を両立させていくことが求められている。外食が元気にならないと買い手が出ない農林水産物も多くあることから、飲食店支援は農林漁業者を支援していくことにもつながる。

本日は、このGo To Eatキャンペーンの状況、そして人の往来の再開に伴う動物検疫の対策の状況、労働力の確保の状況について報告を受けたい。

本省、農政局、動物検疫所などが一体となり、また関係省庁との連携を密にして、これまで講じてきた支援策をしっかりと現場に届けることをはじめとして、引き続き新型コロナウイルスへの対応に全力で取り組んでほしい。

さらに、職員一人一人において、テレワークや時差出勤の活用、毎日の検温や手洗いの励行により、感染拡大防止に努めるよう指示する。

— プレス退出 —

## 2 農林水産省の対応について

危機管理・政策立案総括審議官、食料産業局長、消費・安全局長、経営局長、水産庁長官から説明

## 3 その他

— 発言無し —

以上